▸ブラジル三重県人移民１００周年・県－サンパウロ州姉妹提携４０周年記念式典にて紙芝居贈呈

7月29日（月）、三重大学と紙芝居を用いた日本語モデル事業を行っている、NPO「ハートピア三重」の道上一郎理事長ら６人が県庁を訪れ、鈴木英敬知事に紙芝居を手渡しました。

県庁を訪れたNPOハートピア三重のメンバーら→

贈られたのは、「かさじぞう」と「ねずみのよめいり」の紙芝居。
それぞれ５セットが、絵を描いた画家、伴幹雄さん（かさじぞう）と高橋芙実さん（ねずみのよめいり）より知事へと寄贈されました。

NPOハートピア三重は、三重県在住の日系ブラジル人を対象に日本語教育や、就職、住まいに関してなど各種相談業務を行っており、その生活全般を支援しています。
（ハートピア三重の活動について詳細は、こちらのページもご覧ください）
２つの物語は、日本らしい話を基準に選ばれており、楽しみながら日本語の世界に飛び込むきっかけになれば、と企画されたものです。
「かさじぞう」は、ブラジルを意識し、例えば“かさ”が虹色の手ぬぐいになるなど、カラフルな色合いとなっています。
「ねずみのよめいり」は、それぞれ一人ひとりが素晴らしい存在、というメッセージを子どもたちに伝えるため選ばれました。

そして、ブラジル・サンパウロ州で現地時間８月１７日、ブラジル三重県人移民１００周年・三重県－サンパウロ州姉妹提携４０周年の記念式典が開かれました。
現地を訪れたのは、鈴木英敬知事、内田淳正三重大学長をはじめとする、総勢６６名の訪問団。県職員、県議会議員ら関係者、大学関連機関関係者、企業等で構成されます。
今回の訪問の目的は、サンパウロ州との新たな関係の構築、三重大学とサンパウロ大学との大学連携のステップアップ、三重県の観光・文化・物産などを総合的に売り込むことです。
式典には、ジェラルド・アルキミン・サンパウロ州知事らおよそ４００名が参加しました。
式典は、三重県人文化擁護協会創立７０周年も兼ねており、盛大なものとなりました。

挨拶に立った鈴木知事は、「総勢６６名、オール三重の訪問団として出席できることに心から感謝いたします。皆さんの歓迎ぶりを拝見して、涙がでるほど感動しています。1912年、三重県人のブラジル移住が始まって以来、言語風習が異なる中で、大変なご苦労をされたことと思います。先没者慰霊碑に行ってきましたが、先人の努力があり、今の私たちがあることに感謝と哀悼を捧げてきました。先人は、日本人・三重県人としての気概を失うことなく、雇われ農家から、独立農家へと、そして奥地へと自ら道を

切り開き、幾多の苦難を乗り越え、今や政界、官界、経済界など幅広くご活躍されています。今日、ブラジルは、来年のサッカーワールドカップや2016年にはオリンピックが開催されるなど、世界中から注目を浴びています。日本との経済的繋がりも一層強くなっています。今回のブラジル訪問により、友好交流から、産業連携や観光連携、環境問題克服へと、両国の連携づくりのさらなるきっかけとなればと考えます」と述べました。

また、紙芝居贈呈に先立ち、鈴木知事は「三重県のブラジル人の生活をささえているハートピア三重から、日本の昔話を紙芝居にしていただきました。ぜひ紙芝居を通じて、日本のことを知ってほしいと贈呈にまいりました」と話しました。

紙芝居は、鈴木知事からブラジル日本語センター長へと手渡された→

受け取ったブラジル日本語センター長は、「ハートピア三重さまにつくっていただいた贈り物に感激しています。ブラジル日本語センターは、学習者に直接日本語を教えることはありません。サンパウロ総領事館、ジャイカ、国際交流基金の教えをいただきながら、日本語教師を育成、現職日本語教師をスキルアップしている団体です。ブラジル全国に500人の教師、また学校があります。ipadやインターネットの時代ですが、紙芝居という心のこもったツールによって、日本語教師を通じ、ブラジル全国に皆様の思いを伝えてくれると思っています。全国に皆様の思いが駆け回るよう、ぼろぼろになるまで使わせていただきます」と謝辞を述べました。

また、今回のブラジル訪問の大きな目的の一つである、大学連携に関し、三重大学内田学長は「三重大学とサンパウロ大学が８月１９日、友好協定を結ぶことになりました。協定によって、より一層深い繋がりが大きくなっていくことを心から願っています」と挨拶を述べました。
現在、三重大学人文学部は、サンパウロ大学哲学・文学・人間科学部と学部間協定を提携していますが、この訪問により、さらなる大学間協定へのステップアップの方向性を確認し、学術連携や人材交流の促進など、友好提携や経済交流を支える大学間ネットワークの構築を図っていく予定です。

式典には、NPOハートピア三重副理事長である諸戸タカノリ氏も出席。紙芝居贈呈を見届けました。

ハートピア三重　諸戸氏（写真左）と鈴木知事→

この後、訪問団一行は、サンパウロ日本国総領事公邸における交流会や、サンパウロ大学、サンパウロ州議会などを訪問し、三重県のプロモーションなどを行ったということです。

〔メディア掲載〕

ブラジルの子へ 紙芝居

四日市のNPO 来月訪問の知事に託す

日系ブラジル人の日本語教育に取り組む四日市市のNPO「ハートピア三重」の道上一郎理事長ら六人は二十九日、県庁を訪れ、県との姉妹提携締結四十周年記念で来月十六日から同国サンパウロ州を訪れる鈴木英敬知事に、ブラジルの子どもへの寄贈用に手作りした紙芝居「かさじぞう」「ねずみのよめいり」を各五セット手渡した。

ハートピア三重は、四日市市笹川地区で日系ブラジル人を対象に日本語教育に携わり、子弟の安定した就職を支援している。

この日は、ブラジル訪団に同行する諸戸孝徳理事長や、紙芝居を制作した伴幹雄、高橋芙実の両氏が訪れ、道上理事長が紙芝居を鈴木知事に託した。

鈴木知事は、「日本語教材の貸し出しをしているブラジル日本語センターを来月十七日に訪れる。人の思いがつながる機会にしたい」と約束した。

紙芝居を手渡した「ハートピア三重」の道上理事長（右端）と鈴木知事（右から2人目）＝県庁で

伊勢新聞　2013年7月30日

ブラジルの子に日本の紙芝居を

四日市のNPOが制作

県内在住ブラジル人の生活や教育支援をしている四日市市のNPO法人「ハートピア三重」が、ブラジルでの日本語教育に役立ててもらおうと、日本の昔話を題材にした紙芝居をつくった。制作に携わった画家らが県庁を訪れ、十六日からブラジル・サンパウロ州を訪問する鈴木英敬知事に紙芝居を手渡し、現地での寄贈を託した。（加藤弘二）

ハートピア三重が、知事のブラジル訪問に合わせて企画。かつて絵本作りを通して交流があった愛知県蒲郡市の画家伴幹雄さん(三五)と、多摩美術大の高橋芙実さん(二三)に制作を依頼した。

伴さんらが三カ月間かけてつくった紙芝居は「かさじぞう」「ねずみのよめいり」の二種類。ブラジルを意識し、日本では地味になりがちな絵を、アクリル絵の具を使ってカラフルに描いた。裏面には、読み語りができるように日本語の文章や、昔話が伝える教えも添えている。伴さんと高橋さんは「ブラジルの子どもたちにも、昔話の楽しさや面白さを感じてもらえれば」と話している。

紙芝居は五セットずつ印刷し、サンパウロ州で日本語教師を養成しているブラジル日本語センターに寄贈する。ハートピア三重の道上一郎理事長(六二)は「日本らしい話を選んでおり、楽しみながら日本語の世界に飛び込むきっかけにしてほしい」と期待している。

訪問の知事に託す

紙芝居を制作した伴幹雄さん㊧と高橋芙実さん＝県庁で

中日新聞　2013年8月14日

県訪問団 ブラジルへ

県人移住100周年式典出席

きょうから

三重県人のブラジル移住百周年記念式典に出席するため、鈴木英敬知事をはじめとする県の訪問団が十六日から二十一日まで、県と姉妹提携を結んでいるブラジル・サンパウロ州を訪れる。知事のブラジル訪問は、野呂昭彦前知事時代の二〇〇八年以来、五年ぶり。

十七日に開かれる記念式典はブラジルの三重県人会が主催し、訪問団のほか、州政府や現地関連団体の関係者らが参列。先人の慰霊や来賓あいさつの後、鈴木知事が四日市市のNPOから託された紙芝居の贈呈や、海外功労者表彰をする。

サンパウロ州滞在中、訪問団は州政府の要人とも会談。姉妹提携締結から今年で四十年を迎えることから、友好協力の発展を目指す共同宣言を交わす。

訪問団には県内企業の関係者も同行。経済成長が著しいブラジルとの企業連携を見据え、現地企業との懇談や工場視察をする。

ブラジルでは近年、健康志向から日本食への関心が高まっており、滞在最終日の二十一日には県産品を紹介する「三重デイ」を開催。現地の商社やレストラン関係者を招いて、茶や日本酒、豆腐などを試食してもらう。

鈴木知事はブラジル訪問後の二十二日から二十五日まで、米国カリフォルニア州とワシントン州を訪れ、現地に拠点を置く多国籍企業の幹部と意見交換する。（加藤弘二）

中日新聞　2013年8月16日

■移民100周年の式典

ブラジル・サンパウロ州で現地時間17日、ブラジル三重県人移民100周年や県・サンパウロ州姉妹提携40周年の記念式典が開かれた。現地を訪れている鈴木英敬知事や山本勝・県議会議長、ジェラルド・アルキミン・サンパウロ州知事ら約400人が参加した。

県国際戦略課によると、鈴木知事は「姉妹提携40周年を迎え、これまでの友好交流から、産業連携や観光連携、環境問題の克服を始めとした経済交流へと発展させたい」とあいさつした。式典の後、鈴木知事とアルキミン知事は会談し、姉妹提携協定をリニューアルすることで合意した。

朝日新聞　2013年8月20日

Copyright © 2016 四日市フロント All Rights Reserved.
〒510-0075 四日市市安島1丁目3番18号 （財）三重北勢地域地場産業振興センター内4階，059-353-8260